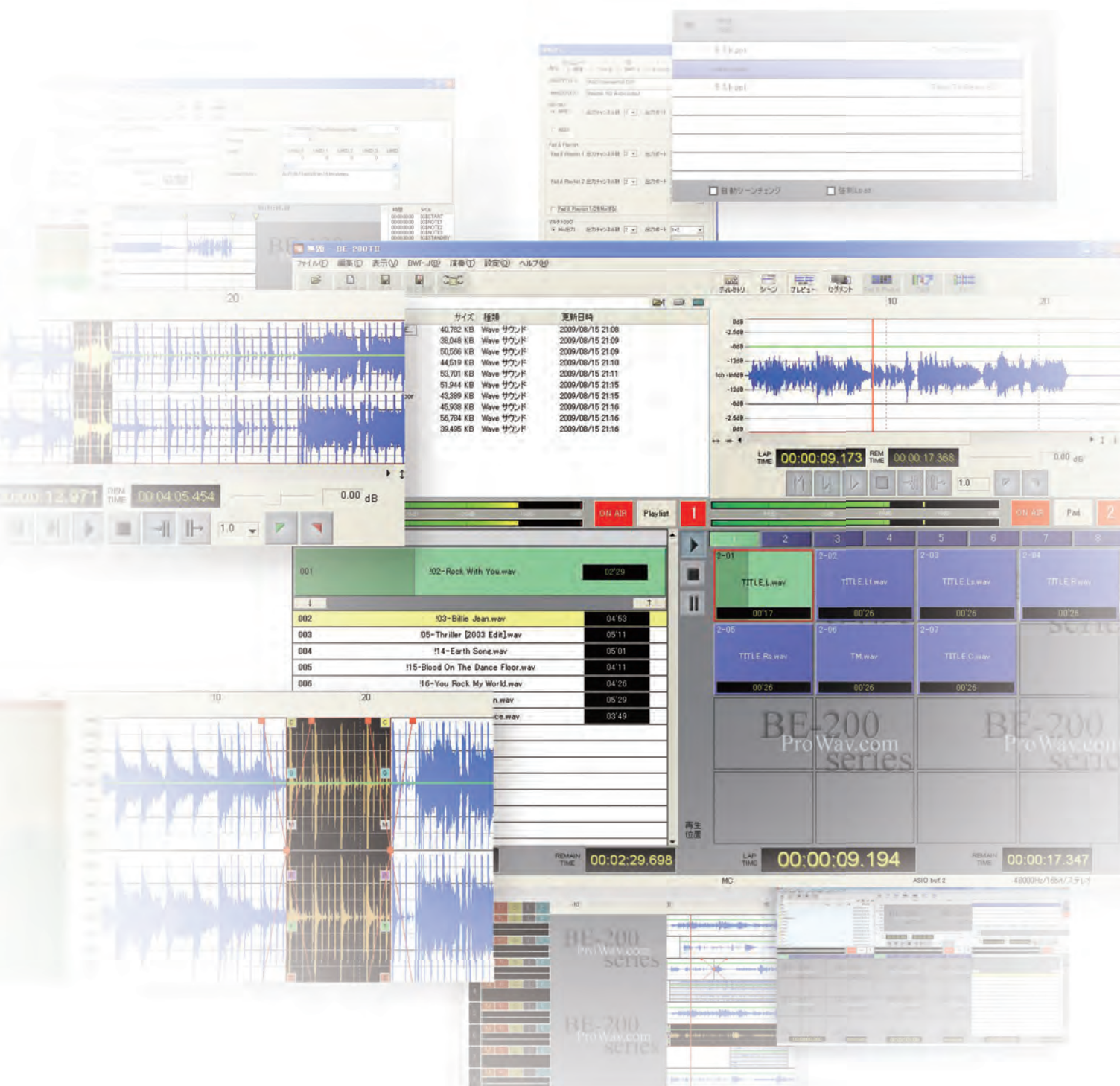


ヒビノは1956年の創業以来、常にお客様のニーズを追求し、質の高い製品を提供してきました。
その長年の経験を元に開発されたのが、BWF-Jファイルの作成・編集アプリケーション「BE-200TII」です。
これからも現場で培ったノウハウを活用し、今までにないユニークな製品を提供し続けます。

BWF-J対応・ポン出しアプリケーションP.282
BE-200TII



BWF-J対応・ボン出しアプリケーション

BE-200TⅡ

オープンプライス

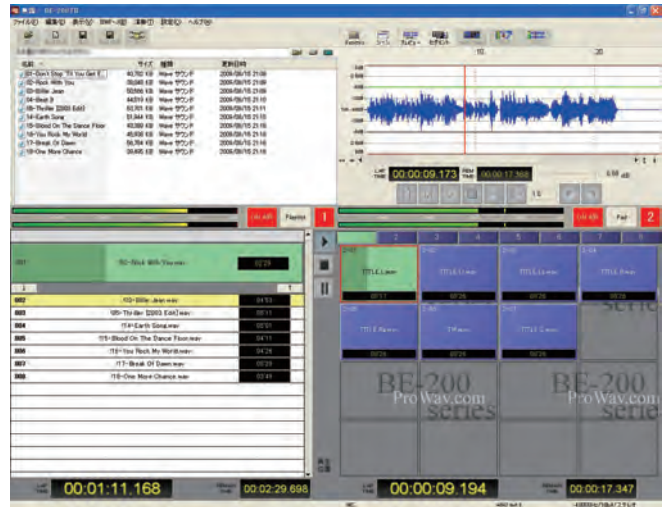
BE-200TⅡは、Windows PC上で
BWF-Jフォーマットファイルを開覧・編集・作成する
アプリケーション・ソフトウェアです。

簡単な操作でBWF-Jファイルの開覧、編集、作成が可能となえ、デジタル化の進む放送システムに対応する、PCベースの録音再生機として多様な用途に活躍します。

また、マルチトラックでの録音・編集ミックスや、Pad&Playlist画面でのボン出しが可能。

放送局での使用に特化しながらも、演劇、イベントなどあらゆる場面でのオーディオ再生機として使用可能です。

※スタジオ設置用やその他の使用用途に合わせ、カスタムPCと専用コントローラーをセットにしたパッケージをご提案いたします。別途お問い合わせください。



■ アプリケーション例

- ・ CD、MDIに替わるオーディオ録音と再生
- ・ オーディオファイル(BWF-J、WAV)の送出
- ・ テレビ、ラジオ局のボン出し
- ・ 番組、CMの送出
- ・ 音源サーバーシステムの端末再生
- ・ 演劇、イベント等の効果音の演出

- BWF-Jレベル1運用規定により定義されるBWF-Jファイルの作成・編集が可能です。
- BWF-JラジオCM拡張仕様V1.00、ボン出しプレイリスト(PPL)規格第1版に対応しています。
- ドラッグ&ドロップの直感的で簡単な画面操作。パソコンに不慣れな方でも、短時間で操作を行います。
- 画面上の1BANKおよび2BANKは、それぞれPlaylist画面とPad画面に切り替えが可能。Pad画面は、それぞれ16Pad×8レイヤーを持ち、前面に32個まで貼り付けられます。音声ファイルはディレクトリーからドラッグ&ドロップするだけで貼付可能です。
- 再生は、同時に2系統をコントロールできるため、1台で素材のA/B出しが行えるほか、同時に録音も可能です。(CDプレーヤー×2台、レコーダー×2台と同等のイメージ)
- 用途に応じて最大4系統のコントロールにも対応。
- 音声ファイルがBWF-Jファイルの場合、BC\$STANDBYラベルにスタンバイします。オプションのGPIOボードを使用することにより、外部からの接点入力操作やステータスの接点出力(BWF-Jレベル1運用規定に準拠)が実行可能になります。

- アーカイブ機能を使用することで、MOやDVDディスクメディアにPPLと使用する音声ファイルのみをコピーできます。
- 音源素材サーバーと連携させてネットワークを組むことで、拡張性のあるシステムの構築が可能です。
- AES 31ファイルのインポート・エクスポート機能搭載。
- RF64ファイルに対応。
- サンプリングレート・ビットレート自動変換機能搭載。
- GPIOボードを使用することにより、外部からの接点入力操作、ステータスの接点出力が可能です。(オプション)
- タイムコードリーダーボードを使用すれば、タイムコードにチェイス(シンク)できます。(オプション)
- CDリッピング機能を追加できます。(オプション)
- 1kHzや無音を自動で検知する完パケチェック機能を追加可能です。(オプション)

■ オプション



専用コントローラー
■KP-4
オープンプライス



専用コントローラー
■EC-3
オープンプライス

Shure
Shure/DIS
BRYSTON
CALREC
CAMCO
CODA AUDIO
DIGICO
DK-Technologies
DPA Microphones
Getten
HIBINO
MUTECH
TRIAD-ORBIT
TUBE-TECH
TVONE

■ 主な特長

編集

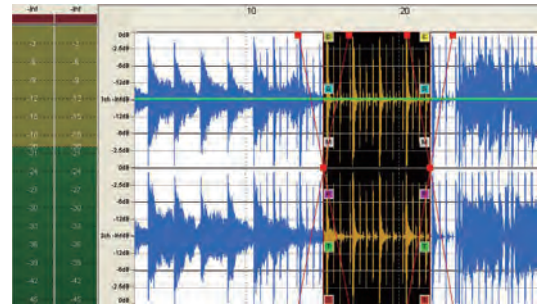
非破壊編集により、オリジナル音源を改変することなく高速な編集が可能です。

- ・切り取り
- ・削除
- ・挿入 / 貼付
- ・無音化
- ・削除してクロスフェード
- ・コピー
- ・分割
- ・無音挿入
- ・一時マーク

マウス編集

選択したセグメントに表示する各マークをドラッグすることで、直感的な編集が行えます。

- F: フェードイン・アウト
- C: クロスフェード操作
(フェードカーブの変更も可能)
- G: ゲインの変更
- M: ムーブ(移動)操作
- R: ロール操作
- T: トリム操作
- S: スライド操作



4系統コントロール画面

- ・用途に応じて最大 4 系統のコントロールに対応。



マルチチャンネルの インターリーブファイルに対応

- ・2ch/4ch/6ch のインターリーブファイルに対応。
- ・サラウンドやマルチチャンネルの送出に使用可能です。



環境設定

- ・BE-200T II の基本設定。
- ・Playlist 画面、Pad 画面のデフォルト設定。
- ・入出力デバイスの設定。
- ・再生ログの保存が可能。



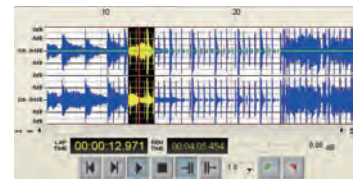
メニューバー・ツールバーは カスタマイズ可能

- ・ユーザーの使い勝手に合わせてカスタマイズできます。
- ・視認性を高める VU メーターも表示可能。



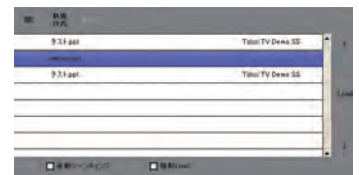
頭出し機能

- ・ON AIR 中でも Playlist、Pad 画面の別素材をモニターしながら、曲の頭出しの位置を変更できます。
- ・曲順の入れ替えが瞬時に行えるため、イベント中の急な変更にも即座に対応します。



シーンダイアログ

- ・Playlist、Pad 画面で作成した曲リストや頭出し位置は PPL ファイルに保存されます。PPL ファイルをシーンに登録することにより、入れ替え(シーンチェンジ)が簡単に行えます。
- ・PPLファイルはポン出しプレイリスト規格第1版に準拠しています。



セグメントプロパティ

- ・ポン出しプレイリスト規格第1版の frame、sname、comment を表示可能です。
- ・素材ごとに再生モードが変更できます。(再生>リスタート、再生>ポーズ、再生>リキュー、ループ再生>リキュー)
- ・フェードアウトとその秒数設定 0.0、0.5、1.0、1.5、2.0、2.5、3.0、4.0、5.0



マルチトラック録音・編集

- ・マルチトラックの録音・編集に対応。オートメーション機能を使用したミックスも可能です。
- ・タイムコードリーダーオプションを使用すれば、外部からのタイムコードに同期できます。



※画面はイメージです。

